



のびっこだより

どろんこあそび
特集号



令和8年5月1日

新緑がまぶしく、夏を思わせるような日が増えてきました。

園庭では砂場に山を作り、トンネルを掘って、溝を作って、「お水流してもいい？」と子どもたち。お水を使ってのあそびが楽しい陽気になってきました。

子どもの心と体の発達には、自発的な遊びが必須です。特に戸外でのあそびは大切に、服の汚れを気にせず子どもたちが思う存分あそべるようにしていきたいですね。

今年度もいつどろんこあそびに発展しても良いように、着替えることなく着てきた服のままダイナミックにどろんこあそびに没頭できる環境にしたいと思っています。

登園時からいつでも汚れてよい服を着せてください。

5月7日(木)より

プールバックにフェイスタオル&パンツ(紙パンツ)&着替え1回分(Tシャツ、ズボン)を毎日用意してください。必要な方は肌着も入れてください。



(持ち帰らなかった翌日はいりません)

プールバックの期間は、汗をかくので下着まで着替えます。パンツ(紙パンツ)は毎回用意してください。

砂泥あそびの5つの効用

汚れる心地よさを 知る

砂や泥などに触れたときに肌が感じる心地よさも、大切な経験です。また、汚れた体を洗って、きれいになったときの爽快感を味わうことも、同時に得られる貴重な体験と言えるでしょう。

負の感情が癒やされる

砂に触れてあそぶことによって、子どもたちのイライラや怒りの感情は鎮められていきます。嫌なことがあって不機嫌な子どもでも、砂場であそぶうちに機嫌がなおるケースが、よく見られます。

友だちとの 関係が 生まれる

砂場は友だちとの関わりが生まれやすい場所です。はじめはひとりであそんでいても、隣であそぶ子のやっていることが気になって、真似をするなど、一緒にあそび出す機会が自然と増えます。

イメージ力や 思考力が 高まる

砂は形を自由に変えられる、可塑性のある素材です。山を作ったり壊したり、器に入れて型抜きをしたり。自由に姿を変えられるからこそ、イメージがふくらみ、それが思考力の高まりへとつながります。

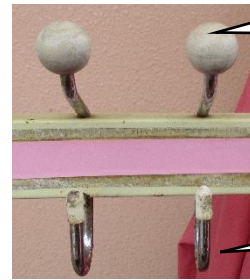
皮膚感覚を 刺激する

子どもは、様々な素材に触ることで皮膚の感覚を発達させていきます。砂あそびでは、さらさらとこぼれ落ちる乾いた砂、握ると固まる湿った砂、水と混ぜたりドロドロした砂など、多様な感触を体感できます。

荷物のかけ方

毎朝、保護者の方にかけて頂きます。

○上段フックと下段フックと、二段になっています。



丸いフック

細いフック

上段フック



下段フック



○上段の丸いフックに布バック(シーツ、タオルケット)

※上段の細いフックには、朝の支度後にお子様がお園服、外遊び後に紅白帽子を掛けますので、空けておいてください。

○下段の丸いフックに、カバン(カバンの中は、コップ、出席ブック、補充用の着替え、休み明けは紅白帽子も)

○下段の細いフックにプールバック(冬期はエコバック)

○お子様が支度をしやすいようにご協力ください。



又は



○紅白帽子、パンツ等の補充の物は、黄色カバンに入れてください。

○カバンに入りきらないものは別の袋に入れ、カバンに結び付けておいてください。

○カバンに補充の物等入れた時は、お子様にも入っていることを伝えておいてください。

ぷるあそびについて

7月1日(水)のプール開きから水着とメッシュ帽を用意してください。

- ・お子様が自分で着脱出来る水着
- ・メッシュ帽(色の指定はありません)
- ・ラッシュガードの使用も可。自分で着脱出来るもの。



水着、メッシュ帽、フェイスタオル等全ておもてに大きく名前を書いてください。

これらをテラスの荷物掛けの下に置いてある「水遊び用」と書かれた箱に入れてください。

※東京都からの指導により、排泄が完了していない(おむつが取れていない)お子様はプールに入れません。プールに入っていないクラスの園児と一緒に過ごします。後日アンケートを配布し、状況の確認をさせていただきます。

